

平成30年度 大阪大谷大学学生代表者会議

～ 学生との意見交換の内容及び大学側の回答 ～

【学生の受入れについて】			
学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署	
1	<p>アドミッションポリシー自体が硬いイメージなので、もっとやわらかい表現にしてほしい。また、特に伝えたいこと、力をいれていること等を大きくわかりやすく記載し、その内容については別途、詳しく記載してほしい。</p> <p>アドミッションポリシーはこちら>>></p>	<p>アドミッションポリシーを含む3つのポリシーについては、平成30年度の入学生を対象に見直しを行いました。アドミッションポリシーについては、各ポリシーとの関係性に気をつけながら、「学力の3要素」※を念頭に置き、入学者に求める資質を具体的に示しています。今後も必要に応じて見直し等を行い、文章が硬いとの指摘については、わかりやすいポリシーを心掛けるとともに、質の高い教育にも繋がるように取り組んでいきます。</p> <p>※学力の3要素： ①基礎的な知識・技能 ②思考力・判断力・表現力等の能力 ③主体性・多様性・協働性</p>	学 長 室
2	<p>オープンキャンパスについて、もっと学外へアピールすることに力を入れてもいいのではないかと思います。また、オープンキャンパス当日もキャンパスが静かすぎ、あまり魅力を伝えることができていないと思う。クラブパフォーマンスを開催していても見学者が少ないように感じる。費用負担等の問題もあると思うが、オープンキャンパスの広告を増やす等、もっと外部にアピールし、参加する学生を増やしてほしい。また、本学には良いところがたくさんある。それらを学外の方々にもっと知ってもらいたい。</p>	<p>オープンキャンパスに関する広報費等については、今後も大幅な増額が見込めないのが現状ですが、限られた条件の中でも、必要なところに予算を配分できるように今後も調整を図っていきたく考えています。一方で、オープンキャンパスにおける新たな企画として入試広報課に属する学生団体(学生広報スタッフ)の結成を進めており、その団体結成のPRは、一つのオープンキャンパス告知になると考えています。さらに、学生団体自身が発信するオープンキャンパスの広報を予定しており、より高校生に訴求する広報ツールとして、オープンキャンパスの告知強化につながると考えています。当日のキャンパスの雰囲気は、次年度、スタッフオリエンテーションやマニュアル作成時点から、学生が主体的にオープンキャンパスを運営することで、様子が変わること考えられます。また、クラブパフォーマンスの参加者数については、1日に2回設定のため見学者が分散していたことも要因かと考え、次年度は1日1回の設定を検討していくとともに、他の企画とのスケジュール調整を図り、たくさんの参加者に見てもらえるようにしたいと考えています。</p>	入 試 広 報 室
【教育課程及び教授方法について】			
学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署	
3	<p>カリキュラムについては、入学当初から、保健体育教員を目指していたが、1回生には教職に必要な科目が設定されておらず、教職について何から勉強を始めたらいのかわからなかったのので、大学側から早い段階で勉強に取り組むきっかけ作りをしてほしい。</p>	<p>教育職員免許状取得に必要な科目について、「教科に関する科目」は1回生より開講しています。一方、「教職に関する科目」は、①難易度、②教職への動機づけ、③教育実習に行く学年を考慮したうえで、2回生以上から受講できるようにしています。入学後、教職科目に関して少しでも不明な点があれば、教職教育センターや学科の教員に質問してください。</p> <p>また、教員採用試験のための学習については、教職教育センターで授業や講座として開講しているものがありますので、センターを積極的に活用することを強く勧めます。</p>	教 務 部 (人間社会学部)

平成30年度 大阪大谷大学学生代表者会議

～ 学生との意見交換の内容及び大学側の回答 ～

【教育課程及び教授方法について】		
学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署
4 カリキュラムポリシーは、長くて読む 気力が失せてしまいそうになる。 カリキュラムポリシーはこちら>>>	本学のカリキュラムは、各学科とも学生の多様な ニーズに合わせて設計されています。そのため、端 的な表現をしてしまうと、カリキュラムの設計方針 も伝わりません。学生のみなさんには、多少長い文 章ではあっても、精読して履修計画に役立ててくだ さい。	教 務 部
5 アクティブ・ラーニングを取り入れた 学びや、グループで活動する中で、学 びを深めるなど、先生によっていろん な取り組み方があり、おもしろいが、 「学びたい」と思える科目がとても少 ない。授業の目的や内容等に疑問が あっても、先生に積極的に話しかける ことが少ないので、疑問を疑問のまま で終わってしまう科目が多々あった。	先生方の取組みは評価してくれているようですが、 「学びたい」と思える授業がないのは残念です。将 来の進路に合わせ、必要な力をはぐくめるようにカ リキュラムを設定していますので、自分が身につけ るべき力を熟考し、シラバスをよく読んで、興味・ 関心を持ってほしいと思います。また、授業の目 的・内容に疑問がある場合は、オフィスアワーを活 用したり、授業の前後の時間を利用して教員に質問 してください。疑問や不満のあるままで終わらせる のは、お互いにとってよいことではありません。学 生のみなさんの積極的な態度が教員の意識や考え方 を変えるきっかけになります。	教 務 部 (教 育 学 部)
6 映像を使用する授業において、耳が不 自由な学生が受講していても字幕が無 いことがあった。学生が手話をまじえ て説明をして対応したが、今後、授業 方法を改善してほしい。	映像資料の情報保障については、教員からの依頼を 受け、障がい学生支援室<アクセスルーム>において 文字起こしを行っており、字幕挿入にも少しずつ対 応を始めているところです。しかし、現在全てに対 応できておらず、周知や体制を整えていきたいと考 えています。授業で困ることがあれば、まずは、教 員やアクセスルームに相談してください。最後に、 字幕作成ボランティアとして、多くの学生さんに手 伝っていただけることを期待しています。	障がい学生支援室 <アクセスルーム> (教 務 部)
【学修及び授業の支援について】		
学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署
7 新生活をスタートするうえでフレッ シュマン・キャンプは多くの学生には 役立っていると思うが、少数の学生か らは酷であるという声も耳にする。例 えば、友達作りが得意な学生はフレッ シュマン・キャンプのような場でその 力を大いに発揮できるが、逆に苦手な 学生からすると友達がなかなか出来 ず、そのまま学生生活を送るというこ とになってしまう。また、そのような 学生は、アクティブ・ラーニングを取 り入れた授業等も苦手な傾向がある。 このような学生が楽しく学生生活を送 るためにも、その対応方法を大学側 には今後考えてもらいたいと思う。	今のあり方が、一部の学生にとって新生活を始める 上でとても負担になっていることは把握していま す。そのため、現在フレッシュマンキャンプ委員会 において、宿泊を伴わずに行い、友達作りもできる ような企画を検討中です。さらにフレッシュマン キャンプだけでなく友達作りができるような機会を 作れるように検討したいと考えています。大学とし て誰でもが楽しく学生生活に入っていけるような環 境作りに努めています。	フレッシュマ ン キャン プ 委 員 会 (教 務 部)
8 本学のいいところは、1回生からゼミが あり、2回生以降も継続的に学び続けら れるところや、実習前のインターン シップにより、頭だけでなく体で学べ るところだと思うが、そのため、ゼミ 担当の先生とはたくさん話をするが、 そのほかの先生とはほとんど話をした ことがない。	本学ではゼミ担当教員やアドバイザー教員へ相談に 行く学生が多いようですが、それ以外の教員に対し ても相談することが可能であり、シラバスや本学HP の教員一覧にオフィスアワーを記載しているので、 積極的に活用してください。	教 務 部

平成30年度 大阪大谷大学学生代表者会議

～ 学生との意見交換の内容及び大学側の回答 ～

【単位認定、卒業・修了認定等について】			
学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署	
9	<p>ディプロマポリシーは、細かく設定されていて分かりやすいと思う。シラバスについては、評価基準が「可」か「秀」の2段階しかないものを見かけたが、それは「可」「良」「優」「秀」の4段階で評価するのと同じように公正な評価となっているのかと少し疑問に思う。</p> <p>ディプロマポリシーはこちら>>></p>	<p>シラバスの成績評価基準に、「可」と「秀」の2段階しか表記されていない科目が多いのは、学生のみなさんに提示すべき情報として、①単位をとるための最低条件と②最も望ましい学習到達度を記載すること、本学が定めているためです。成績評価は厳格に行われ、「可」「良」「優」「秀」の4段階で評価されるので安心してください。現在、学生のみなさんにとってわかりやすい評価基準の記載方法を検討しているところです。</p>	教 務 部
10	<p>日本語日本文学科は、特に記述式のテストが多い。自分がテストで書いたものがフィードバックされれば単位評価に納得がいき、また、どのようなところがよくできて、どこができていなかったのかを自分自身で把握できることにより、次の学びにつながると思う。</p>	<p>試験やレポート等の評価については、受講生のみなさんに対して説明責任を果たすという観点と学習の深まりを促すという観点から、担当教員に何らかの方法でのフィードバックを求めています。授業最終日または試験期間中の試験等については、時期的にそのフィードバックが難しいのも現状です。成績に異議があれば申し立てることができるので（異議申し立ての期間については自宅に郵送する成績表に記載されています）、この制度も活用してください。疑義とはいえないまでも疑問点などがあれば、担当の教員に直接尋ねるか、教務課に問い合わせてください。</p>	教 務 部
【キャリアガイダンスについて】			
学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署	
11	<p>就職課はあまり足を運んでいないせいか、少し閉鎖的な印象である。</p>	<p>就職課は少し閉鎖的に感じる等の意見にもあるように、就職について迷っている学生と就職課との距離はなかなか縮まらないのが現状です。その課題解決のために、1～2回生のうちからキャリア教育科目を設定することで、関心を持って早い段階から取り組めるように、キャリア教育科目の充実を図る準備を進めています。また、来年度設置に向け、キャリアセンターの整備を進めており、今までは、キャリア教育科目については教務委員会が、就職支援については就職課がそれぞれ担ってきましたが、それらをより連携した形で取り組むことで一層充実したキャリア教育支援が行えるようにしていきます。</p>	就 職 指 導 室
12	<p>1～2回生向けに就職等に関する説明会を実施しても出席者が少ないのは、就職に関してまだ迷っていたり、まだ活動しなくても大丈夫だと思っていたりする学生が多いためであると思う。</p>		

平成30年度 大阪大谷大学学生代表者会議

～ 学生との意見交換の内容及び大学側の回答 ～

【学生サービスについて】			
	学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署
13	課外活動のうち、特に文化系団体において、経済的支援が少ないために活動範囲や活動内容が限られ、やりたいことを諦めている団体もいくつかあるようだ。体育系団体、文化系団体、どちらの団体も積極的に活動することで、本学の名前を大きく広めていくことも可能だと思う。	課外活動費には制限があるので、課外活動を行っている団体すべてに十分な費用を配分することは難しいですが、予算配分を検討することは可能です。毎年行っている予算申請時において、どのような活動にどのくらいの費用が必要であるのか、まずは意思表示をしてください。	学 生 部
14	「相談室」という名前自体が、気軽に相談しにくい場所となっている。さまざまな悩みを抱えている学生が、相談室に行くということは、自分自身が困っているということを表に出して相談しに行くことであり、そうすることがとても怖いと感じる。	学生相談室に行くことに抵抗感を持つ学生がいる現状は認識しています。悩みの相談はもとより、自己理解のための性格検査など、学生生活の幅広いサポートを行っていることを周知し、相談室を身近に感じてもらえるよう、入学式、ティーアワー、ランチアワーなどの機会に情報を発信しています。このような情報がより多くの学生に届くよう、今後はWebシステムの利用を含め検討していきます。	学 生 部 (学生相談室)
15	現在もWi-Fiはあるが、接続状態が不安定なため改善してほしい。また、学内で金銭のやり取りをすることが多いため、ATMの設置や、他大学のように学内にコンビニの設置も検討してほしい。	現在、Wi-Fiの接続は志学台公衆無線LANエリア※のみで対応しているため、エリア外では接続が不安定な状態となることがあります。今後、学内全域で接続できるよう順次エリアを拡大する方向で検討していきます。ATMについては、以前は学内に設置していましたが利用者が少なく、維持していくことができなくなり、撤去したという経緯があるため、再び設置するのは困難です。また、コンビニについては、設置に向けて前向きに検討していきます。	大 学 事 務 局

※無線LANエリア：
学内HPの情報教育センター「Web、学内メールの利用について」参照

平成30年度 大阪大谷大学学生代表者会議

～ 学生との意見交換の内容及び大学側の回答 ～

【教育環境の整備について】		
学生委員からの意見	大学側の回答	担当部署
16 学生ホール茜が、柔道場になったこと自体は仕方がないが、その代わりとなる施設、特に昼食時に利用できるスペースがほしい。食堂は、昼休みの時間帯には食堂を利用する学生でいっぱいになってしまい、利用しづらく、現在は、空き教室なども利用しているが、午後の授業の学生が集まってくると居づらくなってしまう。	現在のところ代替施設として提供できるスペースがありません。志学館1階の学生ホールや成和館2階の談話室を有効利用できるように備品（テーブル・椅子）の追加及び配置をしていきます。	大学事務局
17 喫煙所を室内に設置してほしい。	「健康増進法の一部を改正する法律」（2019年7月1日施行）により、学校は屋内全面禁煙となるため屋内に喫煙場所を設置することはできません。なお、喫煙する場合は、他の学生等に迷惑が掛からないよう、屋外に設置された喫煙場所でマナーを守って喫煙してください。	大学事務局
18 各食堂近くのトイレが汚く、改善してほしい。トイレの改修が可能であれば、化粧台スペースの設置や男性用トイレの個室化等を希望する。	16号館（成和館）トイレは、便器交換や内装リフォームを今後検討していきます。 8号館（成光館）は、キャンパス整備計画により建て替えが計画されているため、その計画に今回の検討項目を盛り込みます。 4号館（志学館）トイレは、現在のところ改修する計画はありません。	大学事務局